

「今月の言葉」と「今月の聖語」せいごについての紹介

### 今月の言葉

人生はやり直すことはできないが 見直すことはできる

かねこだいえい  
金子大榮

高校生の頃、勉強もろくにせずにテストに挑んだことがありました。無論、結果は散々。返却された答案用紙を丸めて、「ゴミ箱へ。」やる気がなかっただけ、「いつかやればできる」。ちっぽけなプライドが必死でいいわけを考えていました。しかし失敗をなきものにしようとした自分の愚かな行いは、どこかむなしかったのを覚えています。

人生は無情にも過ぎていきます。言うまでもなく、もう一度やり直すこともできなければ、失敗をなかつたことにすることもできません。

ですが「見直すこと」は、できるのです。しかも、いつでも、何度でも。「いまさら…」と思う人もいるかもしれませんが、決して遅すぎることはありません。

そんなことを、今月の言葉から改めて教えてもらったように思います。

### 今月の聖語

人のわるきこととはよくよくみゆるなり  
わが身のわるきこととはおぼえざるなり

蓮如上人

昔、「今まで、悪いことをしたことがない」と言う若者がいました。

ある老僧は彼に言いました。「バケツに一杯になるように小石を集めてこい」と。若者は、庭中から小石を集めてきました。さらに老僧は、「このバケツ一杯分と同じ重さの大きな石を一つもってこい」と言い、若者は庭の端から大きな石を運んできました。今度は、「ではその大きな石をもとの場所へ戻してこい」と老僧が言いました。若者はしぶしぶ石を元の場所へ返しました。続けて、老僧は命じます。「では、バケツの小石をそれぞれ元の場所へ戻して来い」と。さすがの若者も黙っています。「小石のあった場所をいちいち覚えていません。無理です」。

すると、老僧が言いました。「お前の犯してきた罪も同じだ。大きな罪なら、忘れもしまい。だが、小石のように小さな罪は身に覚えがないものだ。小石でも集めると、大きな石と同じ重さになるように、お前が気付かずに犯してきた罪はとても重たいものである」と。

人の「わるきこと」には気付きますが、特に自分の小さな「わるきこと」にはなかなか気付きません。知らぬ内に犯してしまっている罪。その恐ろしさを教えてくれるお言葉。

※①わるきこと…悪いこと ※②みゆるなり…みえる ※③おぼえざるなり…気付かない